

4 観光

	タイトル	意見等
1	アスティ徳島の利便性低下について	<p>アスティ徳島は令和8年4月から指定管理者が変更（共同事業体）となったが、利用者の利便性低下しか考えていないのではないかと懸念されている。施設利用時における会場設営の有料化、売店サービスの廃止など、利用者のことを一切考えないことばかりである。また、それらについての広報も非常に遅く、年度末間際になってアスティ徳島HPで公表するだけというお粗末な対応。これで広く利用者に周知していると言えるのか。利便性向上であれば良いが、利用者にとって不利益になることを直前まで公表せず、また広く一般に知らしめる方法を取っていないことはどういうことか。民間事業者が共同事業体に入ったようであるが、自らの収益性のみで特化し、利用者への配慮が欠けているのではないかと懸念されている。これらについては、共同事業体からの明確な回答を求めたい。また、共同事業体の代表企業であるキョードーファクトリーは、数年前に阿波おどりを中途に投げ出して撤退した事業主であると認識している。このような事業体で、県有施設を長期間運営していく覚悟があるのか。阿波おどり事業での失敗をどのように感じ、どこに原因があったのか、また、それを指定管理事業にどのように活かそうとしているのかお聞かせ願いたい。後藤田知事には、新ホール（アリーナ）の計画頓挫をアスティ徳島へ目を逸らせているようにも感じる。新指定管理者に忖度することなく、これまで以上に厳しい視点で監督をお願いしたいが、県としてはどのような体制で臨むつもりか。隣県の香川では新アリーナが好評であるにもかかわらず、本県では後藤田知事の気まぐれにより新アリーナさえ二転三転の状況である。そもそも、少子高齢化時代を迎えるにあたり、アスティ徳島も大規模修繕で何十億という費用がかかるにもかかわらず、さらに新アリーナが必要なのか。特定のスポーツチームのために県民の血税が必要なのか。アスティ徳島の有効な運用と新指定管理者の妥当性、新アリーナの必要性とを再考していただきたい。</p>
2	南海フェリーは南紀との回遊性の確保に重要	<p>南海フェリーは四国から南紀、伊勢方面との交流、回遊性の確保にきわめて重要な機能です。これが無い場合には車を利用した観光客は淡路島から鳴門を経て高松、松山、高知方面に向かい（またはその逆）、徳島は素通りするルートを選ぶのが基本になる。なぜならば 徳島市周辺には いつでも行けば必ず有るといふ観光施設が乏しい（宿泊者が少ない理由でもある）。城郭建築、温泉、庭園、遺跡など。DMVもパツとしないし。徳島に観光客を呼び込むには 多様な選択肢・回遊性が必要だが フェリーの廃止はその選択するための条件を消してしまう。観光産業を重視するならば 和歌山県等と協力して 何とか維持する方策を立てるべき。なんならアスティとくしまの近くに例えば水族館などを建設するとか。アリーナは無しでも良いと思うし。海外の航空会社には湯水のように、勝手気ままに税金を使うのに 国内企業にはなぜ協力しようとしぬのか？また数百億の複数案件はどんどん進め、徳島市には20億をポンと拠出する行政とのギャップは 酷すぎる。</p>
3	徳島県・三好市北海道物産ふるさと納税プロモーション	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は徳島県・三好市北海道物産ふるさとプロモーションの実施においては、日本テレビ放送網系列のSTV札幌テレビ放送の人気番組「どさんこワイド179」に生出演しなければならない。具体的には、徳島ラーメン対札幌ラーメンのラーメンのご当地ラーメンの話、徳島ヴォルティス対北海道コンサドーレ札幌とのサッカーJ2の話、阿波踊りとよさこいソーラン踊りの話を行う。</p>
4	若年層の空港利用促進キャンペーン	<p>○ 大学生等の若年層はスマートフォンを利用して、日本航空又は全日空のスカイメイトの航空割引運賃で飛行機に搭乗するので、若年層の空港利用促進キャンペーンは県民の税金の無駄遣い むしろ、徳島=羽田線の航空シャトル便化の実現に県民の税金を使うべきである。</p>